

# 令和4年度第3回岡谷市地域公共交通活性化協議会会議録

日 時 令和5年2月15日(水)

午後1時30分～3時00分

場 所 テクノプラザおかや1階 大研修室

## 【次 第】

○開 会

○会長あいさつ

○協 議 事 項

(1) 岡谷市地域公共交通計画 調査報告書について 【資料1】

(2) 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価(計画策定等)について 【資料2】

(3) その他

○そ の 他

○閉会

## 【出席者】

### 出席委員

アルピコ交通株式会社 吉江委員(代理)、ジェイアールバス関東株式会社 吉田委員、アルピコタクシー株式会社 矢島委員、諏訪交通株式会社 山谷委員、東日本旅客鉄道株式会社 有賀委員、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 関口委員、長野県諏訪建設事務所 宮本委員、岡谷市建設水道部 宮本委員、岡谷警察署 伊藤委員、岡谷市区長会 竹澤委員、岡谷市高齢者クラブ連合会 熊谷委員、岡谷市消費者の会 宮坂委員、岡谷市民代表 板花委員、国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局 高澤委員、長野県諏訪地域振興局 鮎澤委員(代理)、岡谷市産業振興部 木下委員 計16人

欠席：岡谷市福祉有償運送運営協議会 中村委員、岡谷商工会議所 山岸委員 計2人

### 事務局

健康福祉部社会福祉課、企画政策部企画課、産業振興部商業観光課 計8人

## <会議録>

### 【事務局長】

本日は、お寒い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。通常ですと、会議に先立ち岡谷市民憲章の唱和をいたしますが、感染予防のため、担当が全文を読みますので着席のまま黙読をお願いいたします。次第の裏面に、憲章文がございますのでご覧ください。

(市民憲章)

ありがとうございました。

## ○開 会

### 【事務局長】

ただいまから、令和4年度第3回岡谷市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日の議事に入るまでの間、司会進行をいたします、事務局長の今井と申します。よろしくお願いいたします。

本日、岡谷市福祉有償輸送運営協議会の中村委員、岡谷商工会議所の山岸委員が欠席、アルピコ交通株式会社網野委員及び諏訪地域振興局山川委員につきましては、代理出席となっております。

なお、本会議は過半数以上の出席がありましたので、規約第7条第2項により成立していることを報告させていただきます。

## ○会長あいさつ

### 【事務局長】

続きまして、本協議会の会長であります、木下産業振興部長よりあいさつを申し上げます。

### 【会長】

皆様、こんにちは。本日は大変お寒い中、令和4年度第3回岡谷市地域公共交通活性化協議会にご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

また、市の地域公共交通事業に関しまして、ご理解ご協力いただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

本日の協議会では、令和5年度の地域公共交通計画策定に向けて、調査事業を実施してきたところでありますが、ここで調査結果の概要がまとまりましたので、委員の皆様にご報告をさせていただくとともに、計画策定に向けたご意見をいただきたいと思いますと考えておりま

す。委員の皆様には、市民に親しまれ、利用していただける持続可能な公共交通の実現にむけ、お力添えをいただきますよう改めてお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいいたします。

**【事務局長】**

ありがとうございました。

○協議事項

**【事務局長】**

それでは、協議事項に入ります。協議事項は、規約第7条により会長が進行することとなっております。木下会長、議事進行をお願いいいたします。

**【会長】**

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、効率的に会議を進め、短時間で終了したいと考えておりますので、円滑な議事進行にご協力をお願いいいたします。それでは、早速、議事に入りたいと思います。

(1) 岡谷市地域公共交通計画 調査報告書について

**【会長】**

まず、岡谷市地域公共交通計画 調査報告書について、事務局より説明をお願いいいたします。

**【事務局（商業観光課）】**

皆様、こんにちは。事務局の、商業観光課秋山と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。

岡谷市地域公共交通活性化協議会では、令和5年度の地域公共交通計画策定に先立ち、本年度7月25日から基礎調査として調査事業を実施させていただきました。

この調査事業では、地域概況、公共交通機関の把握、関係計画である第5次岡谷市総合計画をはじめ、岡谷市都市計画マスタープラン、岡谷市立地適正化計画、第4次岡谷市環境基本計画のほか、平成23年度に策定いたしました地域公共交通総合連携計画の整理、シルキーバス、スワンバス、アルピコ交通岡谷茅野線の乗降調査、住民アンケート、クロスセクター調査やビックデータによる人流調査、デマンド交通に係る調査などを実施いたしております。

本日は、これら調査結果について、概要版にてご報告させていただきますので、お聞き取りいただき、ご質問やご意見をお伺いできればと考えております。

なお、調査報告書の本編につきましては、本日のご質問やご意見などを反映させ修正し

たのち、3月27日に開催を予定しております地域公共交通活性化協議会にて配布する予定となっております。

それでは、資料の説明は、調査業務の受託会社である株式会社地域総合計画さんをお願いいたしますので、お聞き取りいただきますようお願いいたします。

#### 【株式会社地域総合計画】

(資料1に基づいて説明)

#### 【会長】

ただいま、岡谷市地域公共交通計画 調査報告書について概要説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、お願いいたします。

#### 【高澤委員】

長野運輸支局の高澤と申します。

資料を見ると、他には出てこないデータをたくさん収集されていると思います。気になった部分としては、資料にもありましたが、通勤通学の際に自家用車で送迎されている方が多いようですけれども、実際その状態がいいのか。例えば、本当はバスで行ってほしいけれども、事情があってどうしても他の手段で行かざるをえないということもあるかと思うのですが。そこに通るバスがあれば「本当はバス通勤したい」、というような潜在需要の部分の細かい分析が必要ではないかと思います。

自動車からバスへ、転換していただくようなところもあるのであれば、それも含めて、今後ご検討いただき、せつかくこれだけの人流データがあるので、これをどう公共交通の利用促進に絡めていけるのかというところが重要になってくると思いました。

また、この調査結果はアンケートの回答者や市民に向けて公表する機会があるのか、教えていただきたいです。

#### 【事務局（商業観光課）】

ありがとうございます。いまご意見いただいたことは、私たちのなかでも課題だと感じている部分です。特に夜の時間帯の岡谷駅前には高校生の送迎をする親御さんが非常に多く大混雑しているという状況です。自家用車が多方面に走っていくという状況で、バスがどれだけ活躍できるのかということも含めて検討が必要だと認識しています。データの公表については、本市の地域公共交通活性化協議会に関する議事録や資料等はホームページで公開をすることになっておりますので、そういう形で公開をする予定になっております。また、本日マスコミの方々がいらっしゃっておりますので、新聞報道等も確認していただくということになります。

また、人流データの活用については、我々がどういう観点で見ているかという、今の

バス停が適正・適当な位置にあるかどうか、ということです。お客様の目的地ないしは出発地としてバス停が機能しているかを見させていただくなかでは、バス停配置は概ね適正なのかなと考えております。

#### 【会長】

ありがとうございました。他いかがでしょうか。

新年度では、本調査結果に基づいて、委員の皆様にお諮りしながら、計画策定の作業に入りますが、計画策定に向けて、岡谷市にとっての理想的な公共交通とはどのようなものか、また今回の調査結果をお聞きになった感想など、公共交通に関してどのような事でも結構です。多くの方からご意見をいただきたいのですが、時間の都合もありますので、大変申し訳ありませんが私の方から指名をさせていただきます。おひとり1分程度で結構です。ご意見を頂戴できれば、計画の方に反映させていただきたいと思っております。

初めに、アルピコ交通の吉江委員、お願いいたします。

#### 【吉江委員】

アルピコ交通の吉江と申します。本日は普段参加している委員の代理で来ておりました、ちょっと見当違いなところもあると思っておりますけれども、よろしく申し上げます。

私どもは岡谷茅野線のバスを運行させていただいております、通勤・通学の方でもご利用いただいておりますが、やはりなかなかそれ以外の用途と時間帯で利用が伸びないというところがあります。今回の人流データを活用させていただいて、私どももできることをやっていきたいなというふうに考えております。

どうしても今、茅野市の方で「のらざあ」というAIを使ったデマンド交通というのが主流になってきておまして、バスの需要が減ってきているということも正直あるのですが、やはりこういったデータを見させていただく中で、バスを求めている、バスに乗りたい、というお客様がいるということが結果として出てきていると思えました。

どういう質問や内容のアンケートをとっていただいたのか、私は詳しくは把握していませんけれども、データを社内で共有させていただいて、バスをご利用いただくにはどうしたらいいかなということについて活用させていただければという風に考えております。

#### 【吉田委員】

ジェイアールバス関東の吉田と申します。

調査結果の数字を見ると、「こうなんだな」と思うところがあります。先日、乗務員から90代のお客様がいらっしゃると聞きまして、高齢の方でも健康であればバスを利用いただいているので、それに見合ったハードをそろえていかなくちやいけないなと感じました。このデータも活用できていければいいなと思っております。

#### 【矢島委員】

アルピコタクシーの矢島と申します。

私ども、今回の資料はいろんな角度から調査していただいて、大変ありがたいと思っております。コミュニティバスは直接目的地に行くのではなく、なるべく多くのお客様を乗せるというものになっておりまして、速達性という面では、使う上で時間に余裕がある方になってしまうというのは常々思っています。コストの上昇もありまして、お客様のご利用金額についても、このままでいいものか、見直しが必要なのかなど。将来的に事業を継続していくうえで考えていけないといけないと思います。

#### 【山谷委員】

諏訪交通の山谷と申します。

おもしろいデータだなと思って見させていただきました。2頁の推移のデータを見ると、横這いや少々上がっている傾向が見えて、スワンバスも上向きになってきています。コロナの影響も収束の兆しが見えて、このまま回復が続けば復活できるかなというような感じです。

ただそれに対して広域の移動はいまいちで、もう少しなければいけないのかなと思います。高齢者の46%の方々が公共交通の充実を望んでいるという結果が出ておりますが、自家用車とバス交通を比較すること自体無理がありまして、自家用車の利便性は、どういうものをもってしても打ち消すということはできないわけです。ですから、ある程度公共交通の利用者が何を望んでいるのかと、そのあたりに着眼をしていただきたいなと思います。

コミュニティバスや福祉タクシーというものは、ある程度福祉施策にも関係しております。高齢者の方に関しては、やはり利便性を気にしていると感じられます。

一つ気になった部分としては、AI デマンドについては、10社のうちサービス提供しているのが6社に減ってしまっていますが、4社はどのような理由で入っていないのかということです。各社色々いいところ悪いところあると思いますが、可能でしたら10社の会社名を開示していただければと思います。

#### 【事務局（商業観光課）】

会社名ですけれども、開示はしないという条件でお話をいただいておりますので、お答えは控えさせていただきたいなと考えております。それから、提供実績のある会社10社のうち県内では6社ということにつきまして、おそらく最終的に自治体での採用に至らなかったのかなというところだと思いますが、申し訳ございませんが明確な理由までは把握していないというところでもあります。

#### 【有賀委員】

岡谷駅長の有賀と申します。よろしく申し上げます。

当社も公共交通を担う 1 社というところでございまして、鉄道を利用してその先の二次交通については、岡谷市も含めて全体の課題でございます。

どのような形をご利用いただくかについては大変重要なものとなっております。資料を見させていただきますと、定例的に、例えば通勤でご利用されている方、通院されている方というのは、バスの路線や時間を把握していらっしゃるって、都合よくお使いいただいている皆様が大勢いらっしゃると思います。ただそれ以外のお客様はなかなか、バスということになりますと一般のお客様のイメージとして、朝晩は通勤通学のお客様もいらっしゃるのでも本数もありますけれども、その中間の時間帯と言いますとやはりどうしてもお客様も少ないですから、本数も少ないというなかで「バスがないだろう」とか「この時間だとうまく使えないのではないか」というようなイメージがあるのかなというように思います。

首都圏から結構お客様がいらっしゃるって、例えば市民病院までバスで行きたい、或いはレイクウォークまでバスで行きたいというお客様に、私どもは「今の時間帯だとバスはないです」というふうにご案内させていただきます。それは仕方がないとしても、まず色々なお客様に、とりわけ市民の皆様に限らず全体的にわかりやすいご案内を、例えばスケジュールのダイヤ表や路線図を、バスはこんなに、ここまで走っているのぜひ活用してくださいというようなかたちでいただければ、列車から乗り換えて公共交通を使っただけというかたちで、もう少しご利用が増えるのではないかなと、そう考えております。

#### 【会長】

ありがとうございました。ここまでは事業者の皆様のご意見を頂戴いたしましたが、利用される方の立場というところで、市民の皆様からご意見、ご感想をいただけたらと思います。

#### 【板花委員】

板花と申します。

たくさんの方のデータを見させていただきました。高齢者の方たちには、バスやタクシー、福祉タクシーを、自分の足のように上手に利用しなさいね、というような感じで伝えていきます。特に今の時期は寒いし地面も凍っているのでも使っただけだったらいいなと思っています。

バスについてですが、シルキーバスには一度、参加しているウォーキングクラブで諏訪湖ハイツまで乗せていただいて、諏訪湖ハイツからみずべ公園まで歩きました。帰りにまた諏訪湖ハイツまで歩いてきて、バスに乗せていただきました。十数人で一斉に乗っちゃうと次のバス停で本当に乗りたい人が乗れるかなと思いつつも乗らせていただいたのですが、満員でバスの中が楽しかったです。乗る場所もいつもと全然違うところで乗ったのですが、バス停の場所や通る道を知ることができました。また今年も、違う路線に皆と乗ってみたいと考えています。

#### 【宮坂委員】

消費者の会の宮坂と申します。

私はまだ自分が運転するものですから、スワンバスに一度だけ乗せていただいたくらいですけれども、こういった資料を見させていただきますと本当に大変なんだと思いますし、もっと利用する人が増えてくれればと思います。私も車が運転できなくなったら、こうしたバスやタクシーを利用したいと思いますので、続けていっていただきたいと思います。

#### 【熊谷委員】

高齢者クラブ連合会の熊谷と申します。

このデータの中に隠れている実態があるような気がしております、実際に高齢者の方はバス停が遠ければバスは使わない、使えないって人もいるので、そこを掘り下げただけであればいいのではないかと思います。5分以内、10分以内、15分以内と書いてありますけれども、高齢者はあそこまでいかなきゃいけないという「距離」で考えていて、100m、200mという世界ですね。それ以上遠いと家族に乗せていってもらわなければ行きたいところに行けないというのが実態ですので、そのあたりを考えていただければと思います。

#### 【事務局（商業観光課）】

バス停は半径300mに1つ配置しております、概ねですけれども300mでバス停に着くように置いています。例えば道路状況によってどうしても前後するというのも実状であります。また、バス停があってもバスがたくさん通っていないと駄目じゃないかという意見も当然あります。そのようなことを踏まえながら今の路線を走らせているわけですが、計画策定するにあたっては熊谷委員さんのご意見も参考にしながら考えていきたいと思っております。

また、資料1の15ページをご覧ください。なかなか市のシルキーバスではできないことをアルピコ交通さんは岡谷茅野線でやっていただいております。15ページ左側の運行ダイヤですけれども、通勤通学の時間帯にこれだけのバスを走らせてもらっているということで、上下で6本です。集中的に走っているということでもあります。これは交通事業者さん全てそうだと思いますけれども、朝晩のラッシュ時はたくさんの乗務員さんや車両が必要ですが、昼間にはなかなかお客さんがいないということがあります。シルキーバスについては、バスの車両も限られておりますので、なかなかこのように集中的に走らせることができないということが一つの悩みでもあります。

#### 【竹澤委員（副会長）】

いま実態をお聞きしていると、まあこんなところかなと思います。やはり岡谷市はコンパクトな街ですし、別で路線も結構あったりして、大した問題には感じないですけれども、この人流データの資料を見ていて、少々外れてしまいますけれども、もっと人が集まっている



と思っていた商業施設に、全然人が集まっていないと感じました。

**【会長】**

ありがとうございました。ただいま委員の皆様からいただいたご意見やご感想は、計画策定の参考にさせていただきながら進めて参りたいと思います。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価（計画策定等）について

それでは、地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について、事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局（商業観光課）】**

商業観光課秋山です。

昨年12月に、シルキーバス関係の令和4年度事業の事業評価について照会させていただきましたが、併せまして、調査事業についての事業評価も必要となっております。こちらの事業については、本日委員の皆様にも初めてご説明するスケジュールでありましたので、国への提出期限の都合上大変申し訳ありませんが別紙のとおり事務局におきまして事業評価を行い提出させていただきましたのでご了承いただきますようお願いいたします。

補足ですが、岡谷市をマス目で切って、どのぐらいそのバス停から離れていてどのぐらいの人口をカバーしているのかを見る「公共交通カバー率」というものが3月の協議会の冊子版で出てくる予定となっております。いまのところ岡谷市人口約48,000人いますけれども、バスの本数の多い少ないもありますが、一応44,000人、92.1%をカバーしている、ということになっております。

**【会長】**

ただいま、地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について説明がありましたが、ご質問やご意見等ございますか。

→意見なし

(3) その他

**【会長】**

その他といたしまして、委員の皆様からご意見等ございますか。

事務局からは何かございますか。

→なし

慎重なご審議ありがとうございました。協議事項が終了しましたので、事務局に司会をお返しします。

**【事務局長】**

ご審議ありがとうございました。

○その他

**【事務局長】**

それでは、全体を通して委員の皆様から何かございますか。

ないようでしたら、事務局から事務連絡を申し上げます。本年度中の予定ですが 3 月 27 日（月）の午後に第 4 回の協議会を予定しております。第 4 回の協議会では、令和 5 年度事業計画や予算、計画策定業務委託の内容等につきまして、ご協議をいただく予定となっております。改めて開催のご通知を差し上げますが、ご予約いただきますようよろしくお願いいたします。

○閉会

**【事務局長】**

それでは、慎重なご審議、また、スムーズな議事運営にご協力をいただきありがとうございました。以上をもちまして、令和 4 年度第 3 回岡谷市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ありがとうございました。